

ペットとの 豊かな ライフスタイルを！



周囲にも配慮し、ペットと幸せに暮らしましょう
災害のときの対策は？



あなたのペットは周りに迷惑を
かけていませんか？
災害時の対策は出来ていますか？

**動物を捨てることは犯罪です。
最後まで責任を持って飼育しましょう。**

飼犬・猫のマナーが問題になっています。

最近ペットのウンチ・鳴き声・いたずらで、被害を受けているという苦情が多く寄せられています。

飼育されている方が、飼い主としての自覚を持ってルールやマナーを守り、犬が嫌い（苦手）な人にも配慮し、社会からペットが締め出されないことがないように努めなければなりません。

災害時に備えた対策もこれからは必要です。マナーやしつけの延長上に、災害時には欠かせない飼い主としての心構えが存在します。



犬を飼育する時の注意点

- ★ 市町村への飼い犬登録や毎年の狂犬病予防接種が必要です。
- ★ 近隣に迷惑を掛けないように適正な飼育やしつけを行って下さい。（犬が苦手な人もいます）
- ★ 散歩は周囲の人に配慮し、ウンチの後始末は必ず行って下さい。
- ★ ノーリードでの散歩、放し飼いをしてはいけません。

猫を飼育する時の注意点

- ★ 猫は室内飼育に努めましょう。
- ★ 猫の行動を把握し、ウンチの後始末を必ず行って下さい。
- ★ 近隣に迷惑を掛けないように適正な飼育やしつけを行って下さい。（猫が苦手な人もいます）
- ★ 野良猫への餌付けは、飼い猫と同じです。

ペットを飼う前に考えましょう！

動物の習性・特徴・食性等を事前に調べて、生涯飼い続けることが可能かきちんと検討しましょう。



ペットの飼い主が守る3つのルール

- 1 飼い主がペットとの生活を楽んでいること
- 2 ペットが幸せであること
- 3 周囲の人に迷惑をかけること

チェックリスト

あなたの住まいは、ペットを飼える住居ですか？ 転居や転勤の予定は？	
あなたの飼いたいペットは、あなたのライフスタイルに合っていますか	
家族は全員動物を飼うことに賛成していますか？	
家族に動物に対するアレルギーを持っている人はいませんか？	
毎日欠かさず、世話に時間をかけられますか？	掃除、散歩、エサやり、コミュニケーション(しつけ)、観察(健康管理)
あなたの体力で世話が出来る動物ですか？	
近隣に迷惑をかけないように配慮できますか？	鳴き声、犬・ウンチ等で近所とのトラブルや、苦情が多く寄せられています。
ペットの一生にかかる費用を考えてみましたか？	エサ代、医療費、ケージ、リードなど毎日必要なもの、定期的に変換する物
ペットもあなたも、生涯にわたる計画をたててみましたか？	ペットの寿命と、その間のあなたのライフプランは？
万一、飼えなくなった時のことを考えていますか？	不慮の事故や病気によってペットを飼い続けることが不可能になったときの対応も考えておきましょう。

犬を飼育されている方へ

ウンチは必ず持ち帰りましょう

敷地にウンチをされた方々は大変迷惑しています。自分に置き換えて考えてみてください。ご自身の家の庭や玄関先、畑に犬のウンチが放置されていたり埋められたりしていたら・・・。

犬のウンチは土に埋めただけではなかなか分解されません。公園や道路脇などでも不特定多数の飼い主さんがウンチを埋めたり放置していれば、その公園、道路脇はウンチだらけになってしまいます。



誰も見ていないから放っておこう。
埋めてしまえば分らないだろう。
なんて思っていないですか？

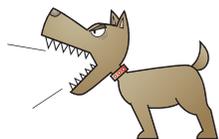


散歩の際はウンチ持ち帰り袋を持参し、必ず持ち帰ってください。
ウンチの後片付けと、おしっこをした所への水かけは飼主の義務であり、最低限のマナーです。

鳴き声でご近所に迷惑をかけていませんか？

夜間や早朝の鳴き声で、眠ることができず、日常生活に支障をきたしている人もいます。生活リズムも多様化し、住宅が密集している中では、隣近所の方への配慮もきちんとおこなう事が飼い主に求められています。

飼い主さんのしつけ次第で、無駄吠えを防ぐこともできます。



リード(引き綱)は飼い主と愛犬との命綱です

毎年、交通事故や迷子になる犬がたくさんいます。最悪の場合、命を落としてしまう事もあります。普段おとなしい犬でも予期せぬ事があればびっくりして、人に噛みつくなど、思わぬ行動をしてしまう可能性もあります。

適正な長さのリードで飼い主とつながっていれば防ぐことができます。

また、犬が苦手な人にとって、ノーリードの犬はどんなに小さい犬でも恐怖の対象以外の何物でもありません。犬が苦手な人もいる事を忘れてください。

迷子になった時の「お守り」鑑札・済票をつけましょう

愛犬を外で放さないことは当然のマナーです。しかしながら、不慮の事故により迷子になってしまう場合もあります。そんな時、愛犬に鑑札・済票がついていれば、鑑札番号から飼い主さんのところに帰ることができます。お守りだと思って付けてあげてください。

また、愛犬がいなくなってしまうたら、長野保健福祉事務所または須崎市生活環境課にご連絡ください。



災害時には身元を明らかにし、
飼い主への返還が容易です。



保健福祉事務所に保護された場合、返還料3500円と飼育代として1日700円かかります。

私にも、名札を付けて
欲しいニャーニャー

狂犬病の国内への進入を防ぐ為に予防注射をしましょう



狂犬病は過去の病気と思われがちですが、現在も存在する病気です。近年のペットの多様化やブームによる密輸、港に入港した船などから、狂犬病に感染した動物が不法に国内に持ち込まれる可能性があり、それらの動物から感染が広がっていくことも考えられます。

一度、狂犬病が国内に持ち込まれてしまえば、新型インフルエンザのように日本中に広がる可能性も否定できません。

狂犬病の再発、蔓延を未然に防ぐ為にも必ず狂犬病予防注射をしましょう。

※狂犬病は、すべての哺乳類に感染し、発症した場合、ほぼ、100%死亡する恐ろしい病気で、世界中で毎年約5万人の方が亡くなっています。

※現在、狂犬病の発生がない国は日本、台湾、キプロス、シンガポール、アイスランド、スウェーデン、ニュージーランド、アイルランド、ノルウェー、イギリス、フィジー諸島のみです。

※狂犬病予防法により、必ず毎年1回の狂犬病予防接種と注射済票の交付手続きをしなくてはなりません。



猫を飼育されている方へ

●猫の避妊・去勢をしましょう

猫は非常に繁殖力が強い動物で、1年で数十匹に増える可能性があります。こうして増えていった猫達が交通事故に巻き込まれたり、近所でイタズラをしてトラブルの原因となることがあります。飼っているオス猫と野良猫との間で生まれた子猫がいる可能性もあることを忘れないでください。

避妊・去勢手術を行い、むやみに猫を増やさないようにしましょう。



須坂市では、繁殖制限の助成を行っています。手術前に須坂市生活環境課で申請してください。オス去勢3千円、メス避妊5千円の補助金が付きます。

避妊去勢手術により生殖器の病気を防ぎ、性本能からの解放でストレスが軽減され長生きができます。



●野良猫に餌付けをしていませんか？

飼い猫・野良猫の違いは、食事を与えてもらっているか、いないかの違いです。エサをあげているだけでは野良猫が増えてしまい、トラブルが増えるだけで何の解決にもなりません。結果として餓死したり処分されるかわいそうな猫を増やすだけです。

野良猫にエサを与えることは「飼い猫」と自覚し、エサを与えるだけでなく、行動範囲の把握と監視に努め、ウンチの回収もし、近隣の方の理解を得て、最後まで責任をもって飼育してください。

エサは決めた時間に必要だけ与え、入れ物・食べ残しは、きちんと片付けましょう

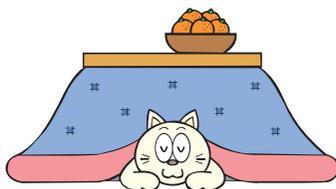


●猫は屋内で飼いましょう

猫は、「自由奔放に屋外で生活するもの」と思い込んでいませんか？猫を外に出すと飼い主には行動が判りません。イタズラをしたり、ウンチなどで近隣とトラブルになるケースも数多く見受けられます。

また、交通事故にあたり、他の猫から病気をうつされたり、怪我をしたり、縄張り争いから帰れなくなることもあります。これらの危険は屋内で飼うことで回避する事ができます。

猫にとっては屋内で飼う方が、危険から解放され安全です。屋内飼育の為に縄張り意識から解放させてあげることです。更に、快適に暮らすためには、家具の配置等の工夫で縦の移動ができるようにすることが必要です。



猫の居住空間用の物です。
(市販品)



災害時のペット対策

阪神淡路大震災・中越地震・東日本大震災・長野県北部地震では多くの人命も失われ、避難生活を余儀なくされた方も沢山いました。その時ペットはどうなったのでしょうか。瓦礫に埋もれて死んだ犬、一命を取りとめても飼い主と巡り会えず放浪する犬、飼い主に戻った犬、新しい飼い主と暮らす犬等さまざまです。

災害は地震だけではなくありません。集中豪雨や台風による浸水・土砂災害や、火災などもあります。被災範囲も、広範囲に及ぶもの、局地的なもの等があり、対応も異なります。安心・安全・幸福な暮らしを求めるのは、人もペットも同じです。

避難生活が長引く時は、動物が近くにいることで、癒され復興に向けた活力をも生み出すことでしょう。

準備と心得

飼い主自身が無事であること。これが動物にとって何より大切です。



日常のしつけ・心がけが、被災時・避難生活時には非常に大きなウエイトをしめます。

飼い主の指示を聞く
無駄吠えをしない。
人なれ・犬なれできる。

人に好かれる犬です。



同行避難については、大勢の被災者が集まります。ペットも快く受け入れてもらえるように、普段からのしつけや、マナーを身に付けましょう。

命を守る対策は、
人も動物も同じですね！



- ☆ 普段から飼い主に対し災害時における行動を意識させる。
- ☆ 避難時における必要物資の確保と携帯品の準備
- ☆ 動物を飼養していない人に対し、ペット同行避難の理解を得る。
- ☆ 同伴訓練の実施により、円滑に避難できるか確認する。
- ☆ 普段のペットの生活場所は安全ですか。



★普段からの備え

災害が起きた後、救援活動が始まるまで3～4日かかります。エサと水、容器を用意しておきましょう。エサは保存性も良く、軽量のドライフードをお勧めします。普段からドライフードも食べる習慣をつけると良いでしょう。

★ペットの安心・安全

動物には強いストレスがかかることを知ってください。これまで優しかった動物も攻撃的になり噛みついたりすることもあります。ケージの中で食事をしたり、お気に入りの毛布を入れたりして、普段からケージに入ることを好きにしておきましょう。

★個体識別

ペットと離れ離れになっても、手帳に情報を書き留めておくことで保護され世話をする時に参考になります。

手帳にペットとあなたが一緒にの写真を貼っておきましょう。普段の食べ物、病気の経過と治療、現在使用している薬、ワクチン接種はいつしたか、鑑札番号と狂注済番号、リードのタイプ等記録しておくことが大切です。マイクロチップも普及してきています。

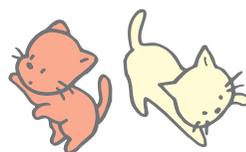
ページ11のペットセフティカードも活用してください。

避難所や救護所では、伝染病が蔓延する可能性も有ります。予防できる疾病は普段から予防接種を受けておきましょう。

ペットの災害時持ち物リスト・チェック項目

数日分のエサ・水・おやつ・エサ水入れ容器（3～5日分）
リード（引き綱）・首輪（予備用）
ケージ・クレート（安全・安心の確保）
ペットシート等（排泄物の処理用具）
ケージの中で食事は出来ますか？
合わない食べ物や薬はありますか？
病気の経過と治療、現在使用している薬はありますか？
首輪ですか？胴輪ですか？何色ですか？リードのタイプは？

- ★ 普段からケージやクレートに入れるように訓練しておきましょう。
- ★ 多くの人に慣れるようにしておくことも大切です。
- ★ 普段からのマナーやしつけを行い、近所に迷惑をかけないようにしておきましょう。
- ★ 飼い主同士のネットワークを作っておきましょう。
- ★ 同行避難と避難所での同居は異なります。



生活場所は安全ですか。

近くに倒れやすい（塀、ガラス窓）ものはありますか。
 増水しても溺れないような対策はしてありますか。
 家具は倒れないように固定されていますか。
 ガラスが割れても飛散しないようにしてありますか。

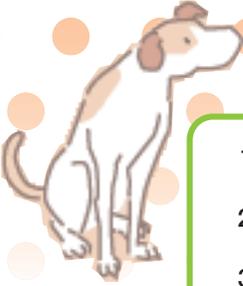


ネットワーク作りを積極的に！

近所の散歩や、愛好会での仲間作り。
 一時的に動物を預かってもらえる人はいますか。

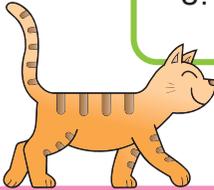
ペットセフティカード

氏名 ふりがな		性別	ペットの写真
		男・女	
住所			
連絡先			
ペットについて			
動物名		品種	
愛称		性別	♂ ・ ♀ ・ 避妊去勢済
年齢		毛色	
体重		マイクロチップ	
鑑札No.		注射済票	年度 号
混合ワクチン	接種済み (年 月) ・ 未接種		
アレルギー			
ない ・ ある 反応物質			
既往歴等特記事項			
ペットの嗜好性			



動物福祉5原則

1. 飢えと渇きからの解放
正しい食事管理と新鮮な水の保障
2. 不快からの解放
清潔で心地よい環境の保障
3. 痛み・傷害・病気からの解放
疾病予防、早期発見治療の機会の保障
4. 恐怖と絶望からの自由
恐怖や精神的苦痛を与えられない保障
5. 正常な行動を示す自由
犬や猫が持つ生来的行動を取ることに保障



長野保健福祉事務所へお問い合わせください

食品・生活衛生課 乳肉・動物衛生係

ペットの飼育方法やしつけの相談 **026-225-9065(直通)**

(須坂市や長野保健福祉事務所、動物愛護会でしつけ教室や相談を行っています)

ペットを飼育できなくなった時はまず、ご自分で飼育できる方を探してください。
どうしても見つからない場合は、ご相談ください

須坂市生活環境課へお問い合わせください

- ★ 須坂市ドッグランの利用
- ★ 犬や猫の「繁殖制限手術助成」
- ★ 犬のウンチでお困りの方は看板の用意があります

担 当 生活環境課 環境創出係

電 話 026-248-9019(課専用) 026-245-1400(内線3254)

F A X 026-251-2459

Eメール s-seikatsukankyo@city.suzaka.nagano.jp

ペットのトラブルを解決するためには地域単位での飼育マナー・モラルの向上が不可欠です。地域の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

須 坂 市